



平成28年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月8日 東

上場会社名 株式会社イーブックイニシアティブジャパン 上場取引所
 コード番号 3658 URL <http://corp.ebookjapan.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 斉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 磯江 英子 (TEL) 03 (3518) 9544
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第3四半期の連結業績(平成27年2月1日～平成27年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	5,029	35.2	△82	—	△80	—	△88	—
27年1月期第3四半期	3,719	—	302	—	303	—	203	—

(注) 包括利益 28年1月期第3四半期 △90百万円(—%) 27年1月期第3四半期 196百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第3四半期	△17.23	—
27年1月期第3四半期	44.39	43.02

(注) 1 平成28年1月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年1月期第3四半期	4,508	2,826	60.7
27年1月期	3,604	2,162	59.3

(参考) 自己資本 28年1月期第3四半期 2,736百万円 27年1月期 2,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000 ～7,500	36.5 ～46.2	△200 ～0	—	△200 ～0	—	△128 ～0	—	△27.85 ～0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) Find Japan株式会社、除外 1社(社名) 株式会社ブークス

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年1月期3Q	5,344,800株	27年1月期	4,810,400株
② 期末自己株式数	28年1月期3Q	200株	27年1月期	200,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年1月期3Q	5,115,807株	27年1月期3Q	4,593,986株

(注) 当社は、平成27年4月23日に第三者割当による新株発行を行っております。期中平均株式数につきましては、増加株式数を反映させて算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

第1四半期連結会計期間において、Find Japan株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

また、第1四半期連結会計期間より重要性が増したフォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。

さらに、従来、連結子会社のうち決算日が2月28日であった株式会社トキオ・ゲッツについては、連結業績のより適時な開示を図るため、当連結会計年度より決算日を1月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成26年12月1日から平成27年1月31日の2ヶ月の損益は、利益剰余金の増減としております。

加えて、当第2四半期連結会計期間において、株式取得及び株式交換により子会社化した株式会社ブックス及び第三者割当増資の引き受けにより子会社化したマグネット株式会社並びに新規設立により上海漫客网络科技有限公司を連結の範囲に含めております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、雇用情勢や個人所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いております。

このような状況のもと、2015年度上期(2015年4月～2015年9月)の国内携帯電話端末出荷台数は、去年同期(1,578万台)から3.8%増の1,638万台、スマートフォン出荷台数は同20.2%増の1,262万台、総出荷台数に占めるスマートフォン出荷台数比率は77.0%(同10.5ポイント増)となっており、フィーチャーフォンからの移行が進んでおります。(出典：2015年10月MM総研調べ)

このような事業環境のもと、世界の主要言語圏に日本マンガを電子で届け、日本発の電子書籍グローバル売上No.1を達成するとの中期計画に基づいて、事業基盤の整備のための開発投資、組織及び人への積極的な投資を推進した結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高5,029,361千円(前年同期比35.2%増)、営業損失82,558千円(前年同期は営業利益302,645千円)、経常損失80,487千円(前年同期は経常利益303,621千円)となり、四半期純損失は88,152千円(前年同期は四半期純利益203,930千円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結累計期間より、事業セグメントの名称を「プロモーション・その他事業」から「クロスメディア事業」へ変更しております。

①電子書籍事業

a. 電子書籍配信

当第3四半期連結累計期間は、特に若年層向け女性マンガの取扱冊数の増加が堅調に進捗し、平成27年10月末時点のラインナップは414,040冊(内訳：男性マンガ70,120冊、女性マンガ74,410冊、総合図書247,500冊、その他22,010冊)となりました。

当第3四半期連結累計期間は、引き続きユーザーサービスの利便性向上に努め、続刊購入や継続的に刊行される雑誌などを簡単に確実に購入できるよう、あらかじめ申し込みをしておいた書籍を、発売日に自動的に本棚に追加する新サービス「新刊オート便」を開始いたしました。また、電子書籍を身近に体験してもらうために、ペットやお子様などの写真を簡単に電子書籍化できる電子フォトブック作成サービス「ほんつく」を開始しました。そのほか、新規会員の獲得に向け、販売提携先や各種イベントを通じたebook図書券の頒布を継続して実施いたしました。以上の結果から、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,691,570千円となりました。

b. 電子書籍提供

当社からの提供冊数の増加、販路の拡大に加え、パートナー企業におけるサイト上でのキャンペーンにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は、219,830千円となりました。

②クロスメディア事業

クロスメディア事業には、スマートフォンアプリを中心とした知育コンテンツをモバイル端末向けに配信するコンテンツ売上、人気マンガコンテンツのキャラクターを用いたタイアップ・プロモーション、中国向けのプロモーション事業のほか、当第3四半期連結累計期間よりインターネット通販により書籍販売を展開する株式会社ブックスの売上が計上されており、合計で1,117,960千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,508,846千円（前連結会計年度末比904,696千円増）となりました。

総資産の内訳は、流動資産が3,219,109千円（同118,632千円増）、固定資産が1,289,737千円（同786,063千円増）であります。流動資産増加の主たる要因は、子会社の取得などにより受取手形及び売掛金が261,360千円増加したことによるものです。固定資産増加の主たる要因は、子会社の超過収益力によるのれんが322,774千円、及び業務システム等の構築により無形固定資産その他が367,869千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,682,670千円（同240,759千円増）となりました。主たる要因は、子会社の取得などによる買掛金が295,740千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,826,175千円（同663,936千円増）となりました。主たる要因は、第三者割当増資により資本金が249,832千円、資本剰余金が249,832千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月期（平成27年2月1日～平成28年1月31日）通期の業績予想につきましては、平成27年9月8日に公表いたしました連結業績予想の現時点での修正はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、Find Japan株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、Find Japan株式会社は、特定子会社に該当しております。

また、第1四半期連結会計期間より重要性が増したフォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。

さらに、第2四半期連結会計期間において、株式取得及び株式交換により子会社化した株式会社ブークス及び第三者割当増資の引き受けにより子会社化したマグネット株式会社並びに新規設立により上海漫客网络科技有限公司を連結の範囲に含めております。このうち、株式会社ブークスは、特定子会社に該当しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が2月28日であった株式会社トキオ・ゲッツについては、連結業績のより適時な開示を図るため、当連結会計年度より決算日を1月31日に変更しております。決算期変更に伴う当該子会社の平成26年12月1日から平成27年1月31日の2ヶ月の損益は、利益剰余金の増減として表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,429,542	2,283,292
受取手形及び売掛金	525,963	787,323
商品	880	432
仕掛品	38,213	13,837
貯蔵品	13	33
繰延税金資産	48,916	25,015
その他	56,947	110,168
貸倒引当金	—	△994
流動資産合計	3,100,476	3,219,109
固定資産		
有形固定資産	88,574	138,233
無形固定資産		
のれん	82,419	405,193
その他	204,290	572,159
無形固定資産合計	286,709	977,353
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,398	23,757
その他	123,991	150,392
投資その他の資産合計	128,389	174,149
固定資産合計	503,673	1,289,737
資産合計	3,604,150	4,508,846

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	854,745	1,150,485
短期借入金	12,000	—
1年内返済予定の長期借入金	34,657	28,227
未払法人税等	80,426	—
賞与引当金	6,338	28,858
ポイント引当金	85,735	60,994
その他	326,193	327,148
流動負債合計	1,400,095	1,595,714
固定負債		
長期借入金	38,601	67,629
資産除去債務	3,214	19,327
固定負債合計	41,815	86,956
負債合計	1,441,911	1,682,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	526,757	776,589
資本剰余金	537,768	910,198
利益剰余金	1,155,881	1,050,342
自己株式	△85,602	△207
株主資本合計	2,134,805	2,736,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	669	705
為替換算調整勘定	395	△727
その他の包括利益累計額合計	1,065	△22
新株予約権	18,320	25,108
少数株主持分	8,047	64,165
純資産合計	2,162,239	2,826,175
負債純資産合計	3,604,150	4,508,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
売上高	3,719,884	5,029,361
売上原価	2,094,987	2,978,036
売上総利益	1,624,896	2,051,325
販売費及び一般管理費	1,322,251	2,133,883
営業利益又は営業損失(△)	302,645	△82,558
営業外収益		
受取利息	65	226
為替差益	992	2,482
不要書籍売却益	210	205
その他	257	541
営業外収益合計	1,527	3,457
営業外費用		
支払利息	551	1,386
営業外費用合計	551	1,386
経常利益又は経常損失(△)	303,621	△80,487
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	303,621	△80,487
法人税、住民税及び事業税	99,396	3,142
法人税等調整額	7,252	4,577
法人税等合計	106,649	7,719
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	196,971	△88,207
少数株主損失(△)	△6,958	△55
四半期純利益又は四半期純損失(△)	203,930	△88,152

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	196,971	△88,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△312	35
為替換算調整勘定	180	△1,838
その他の包括利益合計	△132	△1,803
四半期包括利益	196,839	△90,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,725	△89,239
少数株主に係る四半期包括利益	△6,886	△771

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

連結子会社のうち決算日が2月28日であった株式会社トキオ・ゲッツについては、連結業績のより適時な開示を図るため、第1四半期連結累計期間より決算日を1月31日に変更しております。さらに、第1四半期連結会計期間より、重要性が増したフォーリー株式会社及び株式会社バズグラフを連結の範囲に含めております。この結果、期首の利益剰余金が17,386千円減少しております。

また、当社は、平成27年4月23日付で、クックパッド株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結累計期間において資本金が249,832千円、資本準備金が249,832千円増加しております。

さらに、平成27年5月8日付で、当社を株式交換親会社とし、株式会社ブークスを株式交換完全子会社とする株式交換を行いました。この結果、第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が122,598千円増加し、自己株式が85,602千円減少し、第3四半期連結会計期間末において資本金が776,589千円、資本剰余金が910,198千円、自己株式が207千円となっております。